

指定管理者モニタリングチェックシート（令和7年度実績）

資料2

施設名	蟹江町観光交流センター祭人	指定期間	令和6年4月1日～令和9年3月31日（第3期 2年目）
指定管理者	株式会社船井アソシエイツ	所管課	政策推進室 ふるさと振興課

評価項目及び評価指標	自己評価	所管課評価
1. 平等利用の確保について		
1 多様な来館者が利用するセンターならではの特性を考慮し、平等利用の確保（モニタリング・周知方法等）が実施されているか	3	3
2 情報保護・公開について管理対策は適切に実施されているか	3	3
2. センターの設置目的の効果を発揮するための取り組み及びKPIの達成について		
3 センターの運営のみならず、蟹江町全体の観光・産業振興を理解し貢献しているか	4	4
4 センターが蟹江町の観光・産業振興拠点としての位置づけを理解した事業が実施されているか	4	4
5 利用者の要望を把握し、苦情・要望に対して適切に対応しているか	3	3
6 センターの利用促進・サービス向上を図る基本的な考え方にに基づき、具体的に実施しているか	4	4
7 上記について長期的な観点から維持・向上させる方策を考えているか	4	3
8 町の観光・産業振興に繋がるための町事業との連携のあり方について理解をし実施しているか	4	4
9 須成祭文化を紹介する機能と飲食・物販、その他のスペース機能が相乗的に効果を発揮しているか（自発的な出店協力も含む）	4	4
10 センターの設置目的を達成するための効果検証が実施されているか	3	3
11 設定したセンターの来館者目標は達成しているか	2	2
12 自ら掲げたKPIは達成しているか	4	2
13 センターの課題をふまえたうえで、現実的かつ効果的な対応策が実施されたか	4	4
3. センターの効率的な管理運営について		
14 収支予算書と比較して、収支状況は適正か	3	3
15 各積算項目の質は十分であったか また、賠償保険に加入しているか	3	3
16 経費を削減するための取り組み努力がなされているか	3	3
4. 安定して運営を行えるものであること（業務実績・運営体制）		
17 組織的に安定しているか	3	3
18 業務を実施するために適切な人員配置がなされているか	3	3
19 業務その他必要な事項に関して人員に必要な教育が十分されているか	3	3
20 地域振興に繋がる地域住民との関わりが持っているか	4	3
21 ガイドボランティアや蟹江町教育委員会との連携が図れているか	3	3
22 祭関係者や観光産業推進関係者（商工会、観光協会ほか、鉄道関係者なども含む）との連携が図れているか	3	3
23 繁忙時等の対応は適正であったか	3	3
5. その他（町の観光・産業振興を促進する事業を行えるものであること）		
24 指定事業や自主事業について町の考えを理解した上で実施されているか	4	4
25 6年間の実績・反省点を踏まえ、7年目としての工夫がなされたか	4	4
26 蟹江！観光・産業振興プロジェクトやかわまちづくりと連携した事業を考え、実施しているか（デジタルに読みかえます）	4	4
<b>合計（26項目×4＝104点満点）</b>		
	89	85

＜評価者コメント＞

指定管理者	<p>「街ガチャ」を提案し、自主事業で開催したことは蟹江町の観光振興に大きく寄与したと考え、これまでの実績をふまえた7年目の工夫である。指定管理者として祭人に地域限定旅行業務取扱社を配備した体制を構築したことで、別事業であるが、今年度は旅行会社と連携したモニターツアー造成ができたと考えている。</p> <p>常設施設の運営を通じて地元産品の販売や関係者との継続的な関わりを持つことで、地域とのネットワーク形成につながり、観光・産業振興への一助となった。特に尾張温泉の温泉の素を長年販売してきたが、尾張温泉での販売が前進したことで物販連携が拡張した。</p> <p>また、船の保有により屋形船での水郷巡りの環境整備に取り組みとともに、スタッフによるお手伝いも行った。須成祭の神事「よし刈り」の継承に関わることが本年もできた。</p> <p>船舶の運航に伴う国の規則が厳格化する中でも、継続のために必要な資格取得や登録を進め、今年は船検及び監査を関係省庁から受け合格したとともに、船舶免許も更新した。</p> <p>野菜の納品事業者の増加により取扱商品の充実が進み、SNS（LINE公式アカウント）を活用した情報発信によって、来館者の増加にも一定の効果が見られたと感じている。また、「最要のいちじくカレー」や「蟹蟹ラーメン」については、リピーターに加え口コミによる利用も見られ、一定の評価を得ているものと考えている。</p> <p>また、その一環として、東海テレビの「おぎやはぎ」番組の協力で取材および出展にも協力した。</p> <p>さらに、マルシェの定期的開催は90回を超えた、SNSやホームページ、蟹江町の情報発信に関わるインフルエンサーとの連携による広報、エコ教室の継続実施、各事業者主催のラリー事業への参加、マンホールカード配布施設としての取り組みなどを通じて、来館機会の創出に努めてきた。蟹江町観光協会主催の4市町ゆるぼたの延長版として、GOKISO付高級自転車の貸し出しを2か月間延長して実施した。また、別プロジェクトで「50蟹ラリー」を開催する際に、新たな蟹ポイントとして「蟹蟹ロード発祥の地」の石碑を菜も屋さんに置く自主事業を開催した。</p> <p>インスタのフォロー数も順調に伸び、2000に届く勢いである。いちじく畑の管理も地元と連携して適切に行っている。</p> <p>外部出店は、別紙資料欄にて記載したとおり、多くの出店に協力した。</p> <p>以上の取り組みにより、センターの運営に加え、蟹江町全体の観光・産業振興に対して一定の役割を果たすことができたと考えている。今後も引き続き、事業内容の充実と効果の向上に努めていきたい。</p>
施設所管課	<p>4市町ゆるぼたツーリングやデジタルスタンプラリー「50蟹ラリー」など様々な事業やイベントにおいて祭人独自の工夫や取り組みの実施がされた。各出店では酒販を活かした特産品であるお酒の試飲販売や尾張温泉での温泉の素の販売開始、さらには指定管理者がこれまで各事業者、他市町村と築き上げたネットワーク、各SNSやホームページでの発信活動等により、施設来館者数は目標値を達成しなかったが、イベント開催による来館者数は前年度に比べ増加し、町の観光・産業振興の拠点として施設の在り方を十分に理解した管理運営が行われている。来年度からは第3期目に入ります。これまでの経験等生かし、一層の観光資源の発掘・磨き上げによる効果的な事業展開等を期待する。</p>

＜総合評価基準＞

総合評価	評価の定義	総合点に対する評価合計点数の割合
A	優れている	8割以上（84点以上）
B	適正に管理されている	6割以上8割未満（63点以上84点未満）
C	一部に改善を要する	4割以上6割未満（42点以上63点未満）
D	多くに改善を要する	4割未満（42点未満）

総合評価	A
------	---

＜利用者評価＞

利用者アンケートの実施状況	<p>各種事業を開催した事業アンケートによる利用者ヒアリングを行った。 枚数全事業総計で1,000枚以上のアンケートを実施した。 ※指定管理業務（一部自主事業）の範囲で実施。（なお、報告とりまとめはそれぞれの業務で実施し報告） （内訳） レンタサイクル：256 町内飲食店利用に関するもの：142 蟹江・夏の特別な夜「須成祭」宵祭 屋上特別観覧と本格フレンチディナビュッフェ日帰り：28 デジタルスタンプラリー「蟹江町で蟹を50ゲットせよ！」：490 蟹江町レンタサイクルアンケート：132 スマートフォン体験教室：62 フリープラン4市町ゆるぼたツーリング：7 デジタル事業者：3 デジタル人材：9 まちのたね：173</p>
利用者アンケートの実施結果	<p>新システムのレンタサイクル導入には、駅など利用しやすい場所への設置と、手頃な料金設定が重要だと分かった。 特に、電動アシスト付きやスマホで簡単に予約できること、安全に利用できる環境づくりが求められている。 観光だけでなく、買い物や通勤など日常でも使いやすい仕組みにすることで、町のにぎわいや回遊性の向上につながると考えられる。</p>
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<p>利用者からの苦情はなかった。鉄道関係のハイキングでは歩行者の安全確保に努め、マルシェ開催時には駐車場で出店もあるため、出店スペースの配置を工夫し、安全に配慮した運営を行った。</p>